

①グローバルサプライチェーンの構築（海外市場）

現地の食文化・食習慣に合わせて当社の強みを磨き、成長市場にチャレンジ

事業環境

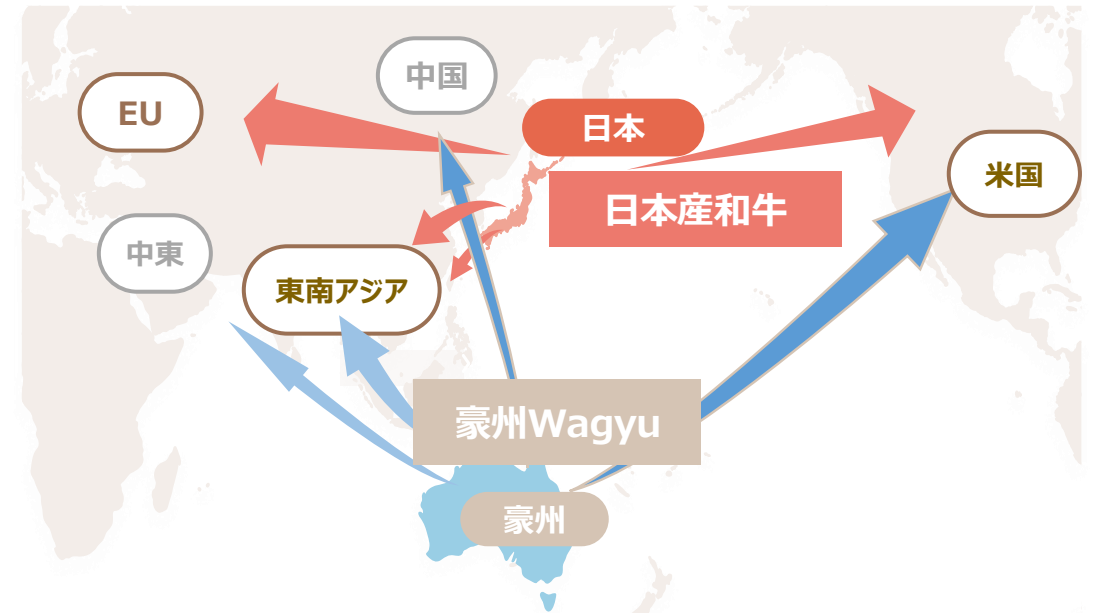
- ① 東南アジア等や北米などで食肉需要が増加
- ② 食文化の多様化で、和食・和牛の需要が拡大
- ③ 日系外食や小売企業の海外進出が加速

海外で活かせる強み

- ① 日本産和牛や豪州Wagyuなどの供給力
- ② 食肉の提案力と高い商品化技術
- ③ 海外ネットワークに強い三井物産との連携

重要施策

- ① 日本産和牛と豪州Wagyuなどの輸出能力拡大
- ② 東南アジアでの食肉加工販売を拡充
- ③ 海外進出する外食・大手スーパー等への供給力強化



施策展開イメージ

②市場動向を捉えた販売体制最適化（国内市場）

ライフスタイルの変化や消費の二極化に向け、商品力と提案力をさらに磨く

事業環境

- ① 日本の**少子高齢化・人口動態**の変化
- ② 顧客ニーズの**多様化**と**ライフスタイル**の変化
- ③ **生活防衛意識**の高まり

国内で活かせる強み

- ① 国内外の強固な**調達基盤**
- ② 高い**商品化技術**と**衛生水準**
- ③ 50カ所の営業拠点の**情報収集力**と**提案力**

重要施策

- ① 製造拠点および生産ラインの見直し
- ② 加工食品群の品ぞろえと生産能力強化
- ➔ **商品力のさらなる進化**
- ③ 市場動向に合わせた営業拠点の再配置
- ④ サプライチェーン全体でお客様視点の商品提案
- ➔ **提案力のさらなる進化**



①グループ内物流の骨太な改革

物流改革をさらに推進し、国内の物流課題を乗り越える

国内の物流課題

持続可能な物流運営

上昇するコストの抑制

環境負荷の低減

課題解決に向けた当社の施策

① 物流網の整備

拠点配置、中継機能の充実化

② 物流ルール最適化

リードタイム、受発注オペレーションの改善

③ 物流手段の改善

パレット輸送の推進、モーダルシフト・共同配送の拡充、ITシステムの活用

施策実行による効果

① 物流網の整備

- 新基幹物流拠点稼働
 - ・ 保管能力増強(2.5倍)
 - ・ 分散する在庫の集約
 - ・ 仕分け作業の効率化



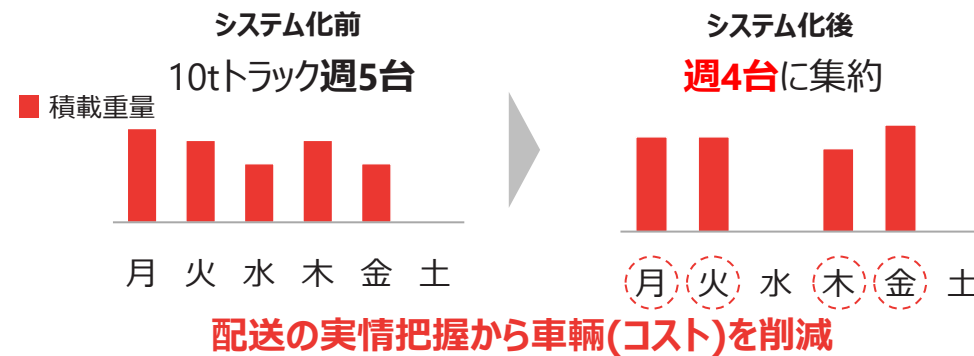
グループ基幹物流拠点
東扇島センター（26年8月稼働予定）

② 物流ルールの最適化

- ・ 受発注オペレーションの改善によるコスト削減
- ・ パレット輸送、仕分け作業自動化促進

③ ITシステムの活用事例

- ・ 物流システムの可視化によりデータを分析し、改善



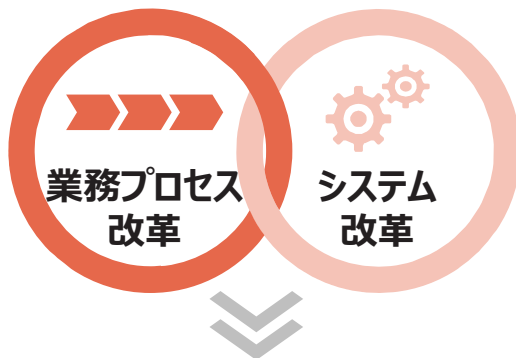
②スターゼン版DX（Zeusプロジェクト）の進化

業務・システム両輪で改革を加速

業務が複雑でシステム化が困難といわれる食肉事業において、**自社のICT部隊にて自前で基幹システム**の刷新が進行中。

「食肉実務部隊」と「食肉業務を知るシステム部隊」、双方の部署が協力し実業に適したオリジナルの基幹システムを構築。

- 業務の見直し、デジタル化
- 業務の見える化・標準化
- データの可視化



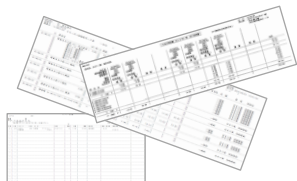
- データ連動によるFAX、電話業務の効率化
- AI等新技術の活用

目指す効果

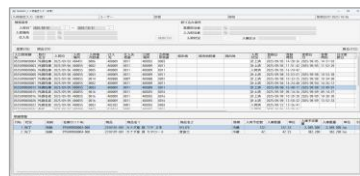
改善・効率化ムダの排除

業務の属人化排除、汎用化

経営・運用の意思決定迅速化



データの不統一、紙・FAXで煩雑



新システムで効率化

現状～本中計期間の見通し

- 部門領域ごとに順次システム開発・構築・運用が進行中
- 2028年度に主要品目の通常業務のシステム運用予定

基幹システム稼働スケジュール

年度	2025	2026	2027	2028	2029	2030
	国産鶏肉	貿易輸入		加工食品		
	✓ 稼働済			貿易輸出		食肉加工
	物流・配送LINK			国産牛豚肉・他		
	✓ 稼働済					

導入後の投資効果...

- 工数削減・業務フロー改善で年間5億円の削減効果
- 需要とコストの見える化により収益性を改善

① 経営戦略に連動した未来志向の人材戦略

多様な挑戦を促す人材ポートフォリオの構築

人材ポートフォリオの最適化 ～能力の発掘～

- ① 適所適材な人材配置を実施するためのタレントマネジメント
- ② サプライチェーンの横断的知見を活かせる人材の育成
- ③ ダイバーシティ採用の拡充による人材の充足

自律自走の組織運営 ～能力を活かす～

- ① キャリア自律支援の促進
- ② 評価者のマネジメントスキル（人材育成力）向上

従業員エンゲージメントの向上 ～能力を発揮～

- ① 事業戦略の実現を動機付ける人事制度と評価・報酬体系の実現
- ② 若年層の早期管理職登用

インターナショナルブランディング
の推進

人的資本の最大化

経営理念

長期ビジョン

世界中のお客様ニーズに
応えるサプライチェーンの実現

中期経営計画2030

強みのさらなる進化と
グローバル市場への挑戦

②サステナブルな社会の実現への貢献

多様なパートナーと行動を起こすことで、社会課題の解決に導く

重要課題（マテリアリティ）

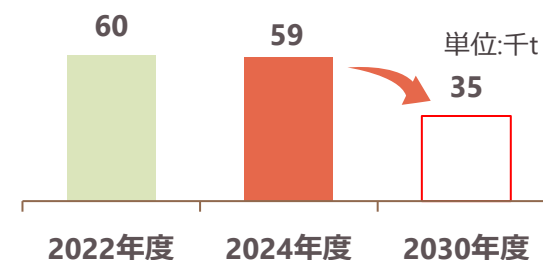
当社の事業環境や問題認識を洗い出し、10項目ある重要課題のうち特に**3つの項目**について、中期経営計画2030において重点的に取り組む

重要施策



①GHG削減推進

- ・省エネ継続、再エネ・太陽光パネルの積極的導入
- ・拠点集約などによる物流効率化
- ・Jクレジット活用検討
- ・海外パートナーやサプライヤーとの協働

GHG排出量／CO₂換算（Scope1・2）

②人権対応

- ・人権の尊重と適正な雇用（含む外国籍就労者）
- ・サプライヤー調査

* 2025年に取得した豪州肥育農場の排出量は別途算出中



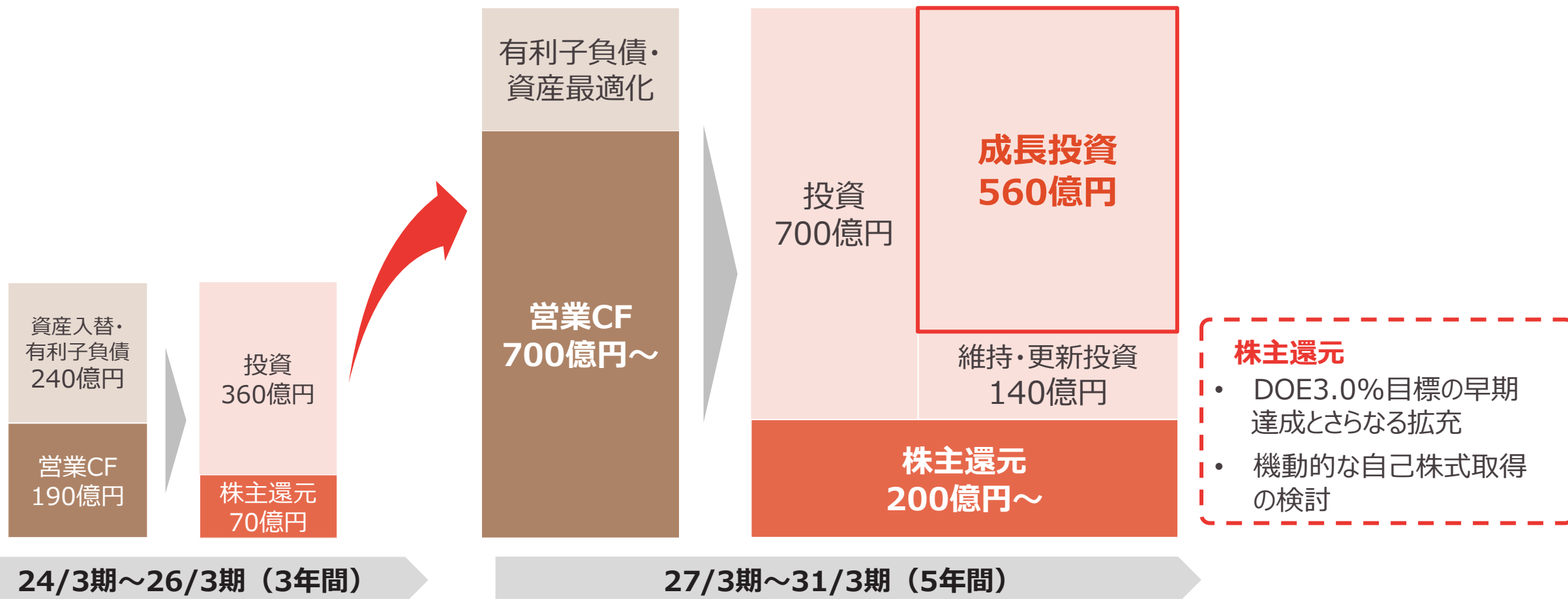
③アニマルウェルフェアの促進

- ・飼養環境の再整備とフリーストール導入への取組み
- ・家畜断尾中止に向けた取組み



③グローバルな成長を支える財務戦略 キャッシュアロケーション計画

- ✓ 営業キャッシュフロー拡大を図るとともに、有利子負債を積極的に活用し**成長投資**を支える
- ✓ DOE目標3.0%の早期達成と、自己株式取得を含めたさらなる**株主還元拡充**を実現



③グローバルな成長を支える財務戦略 バランスシートマネジメント方針

- ✓ 事業基盤の強靱化により**資産効率の最大化**を図る
- ✓ 自己資本比率40%程度とし、**財務健全性と株主還元拡充**を両立する

